

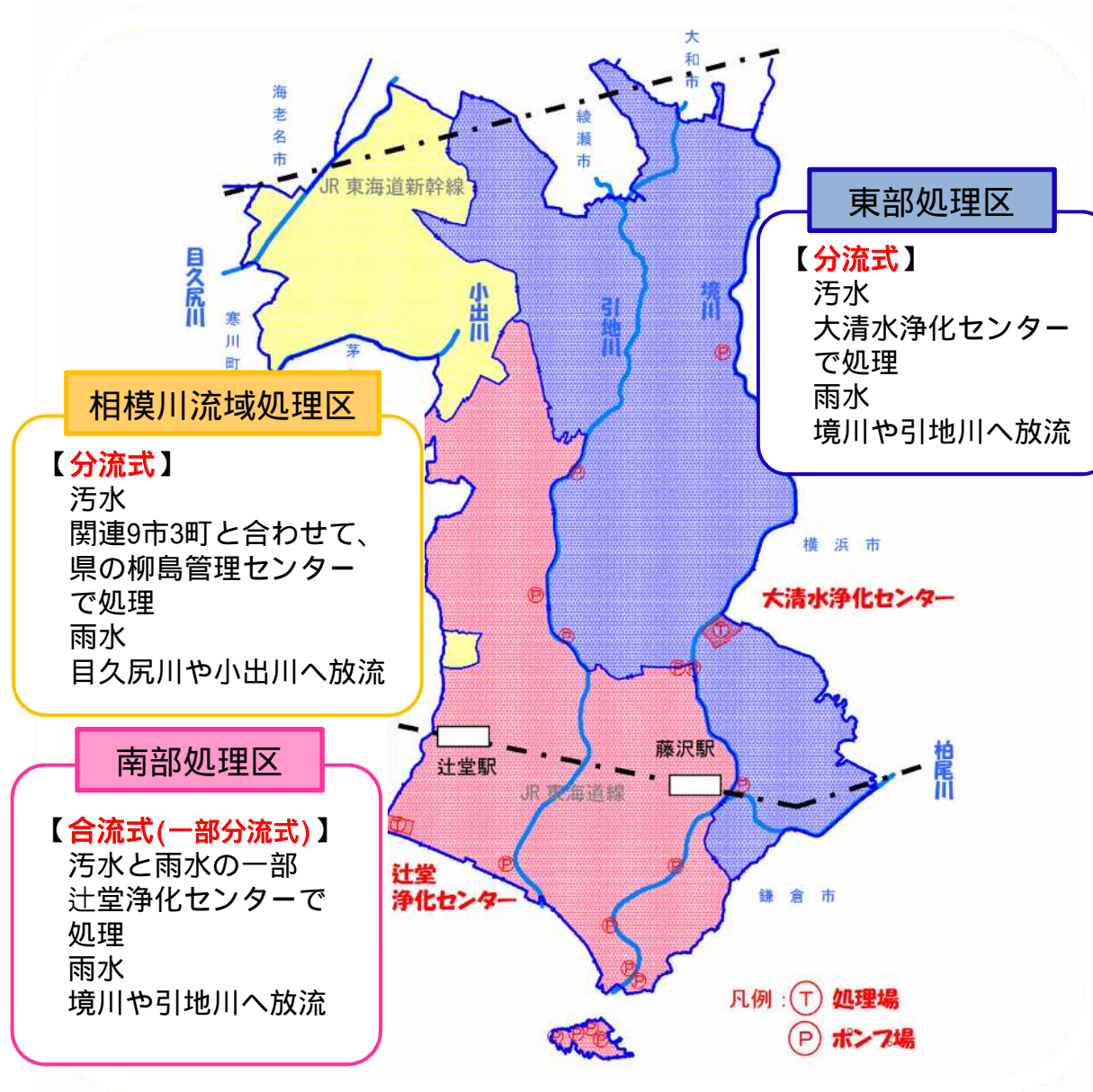
藤沢都市計画下水道の変更について

報告事項1

藤沢都市計画下水道 第1号公共下水道（藤沢市決定）

藤沢市の公共下水道事業の概要

1



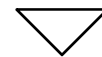
昭和26年～
下水道事業に着手



昭和30年～40年代
「南部処理区」の整備
(東京オリンピックが契機)

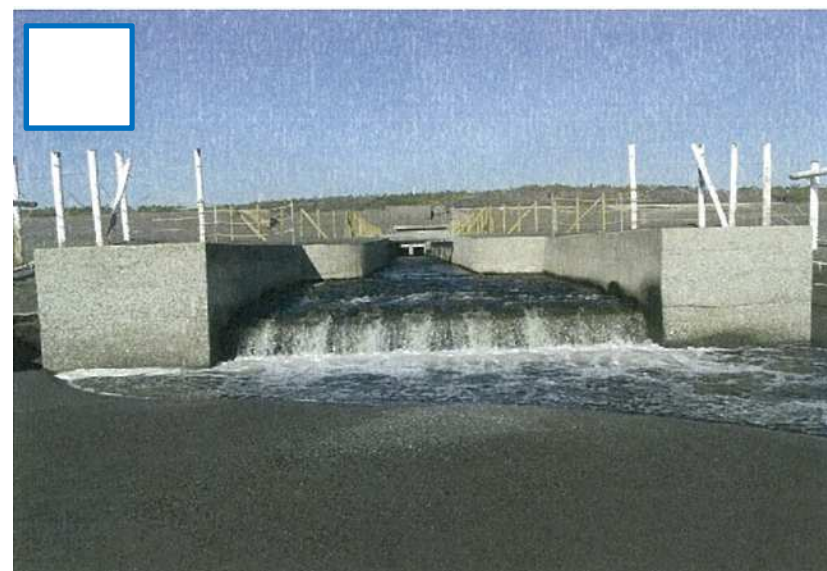
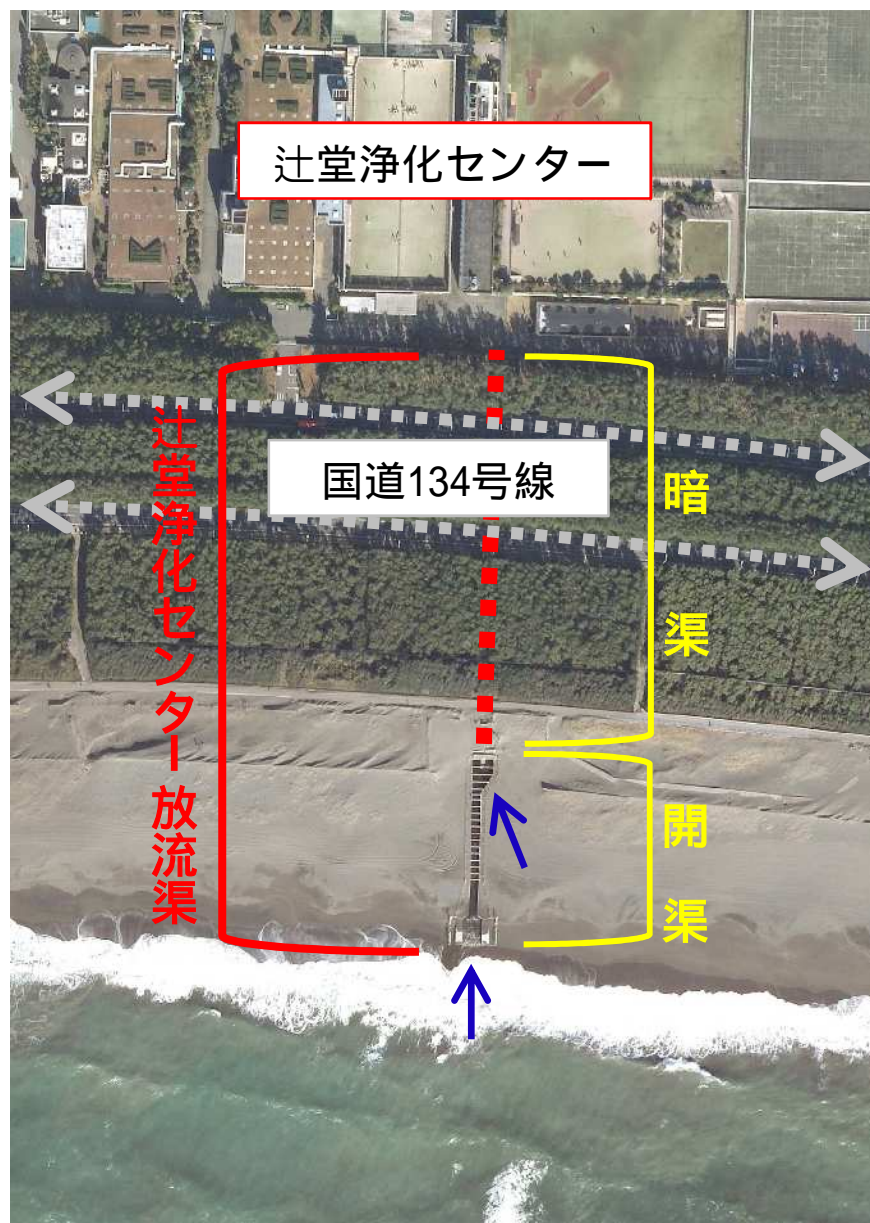


昭和50年代～平成8年頃
「東部処理区」
「相模川流域処理区」
における市街化区域内の整備



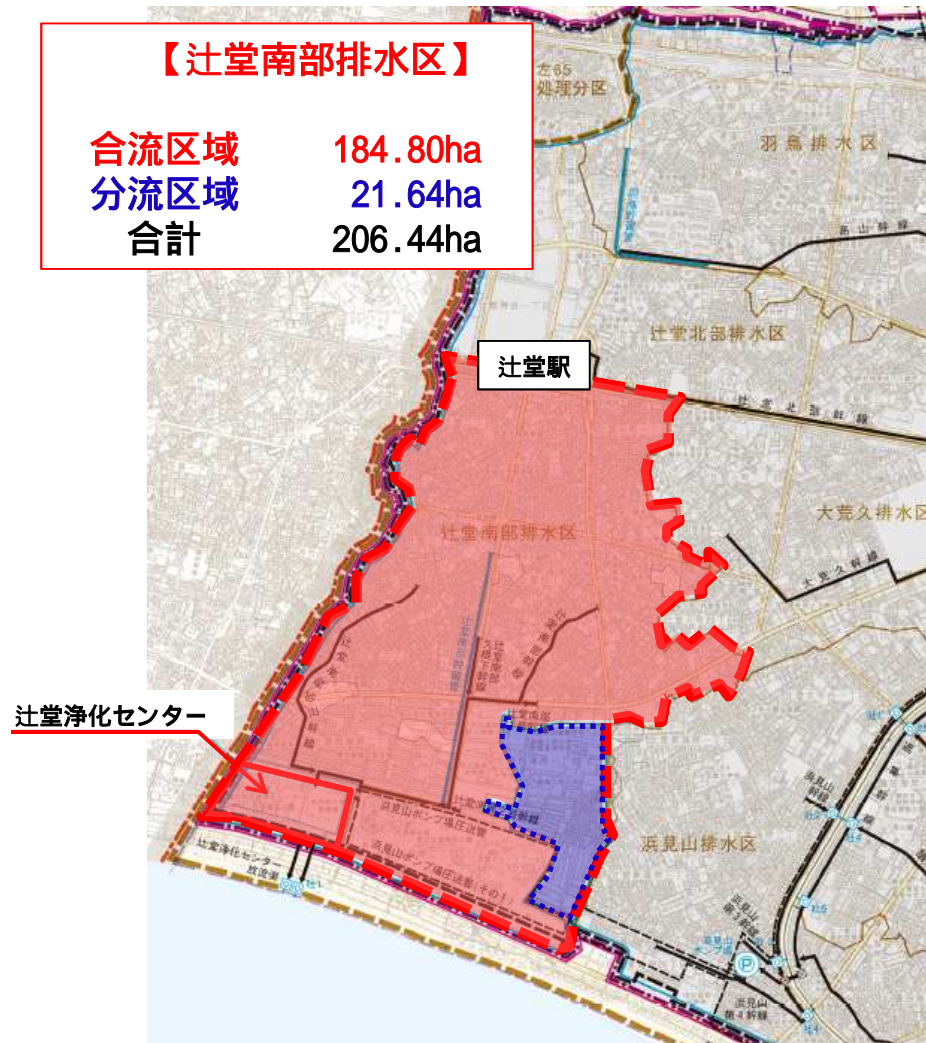
平成8年頃～
市街化調整区域内の整備

下水道処理人口普及率
約95.5%

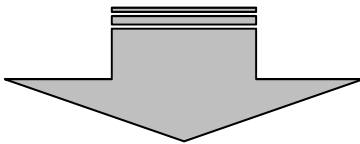


【辻堂南部排水区】

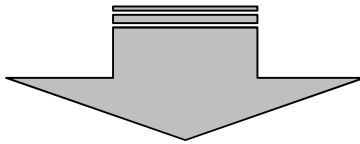
合流区域	184.80ha
分流区域	21.64ha
合計	206.44ha



辻堂浄化センターへの
流入下水の現況



汚水と雨水が合流して
辻堂浄化センターへ流入



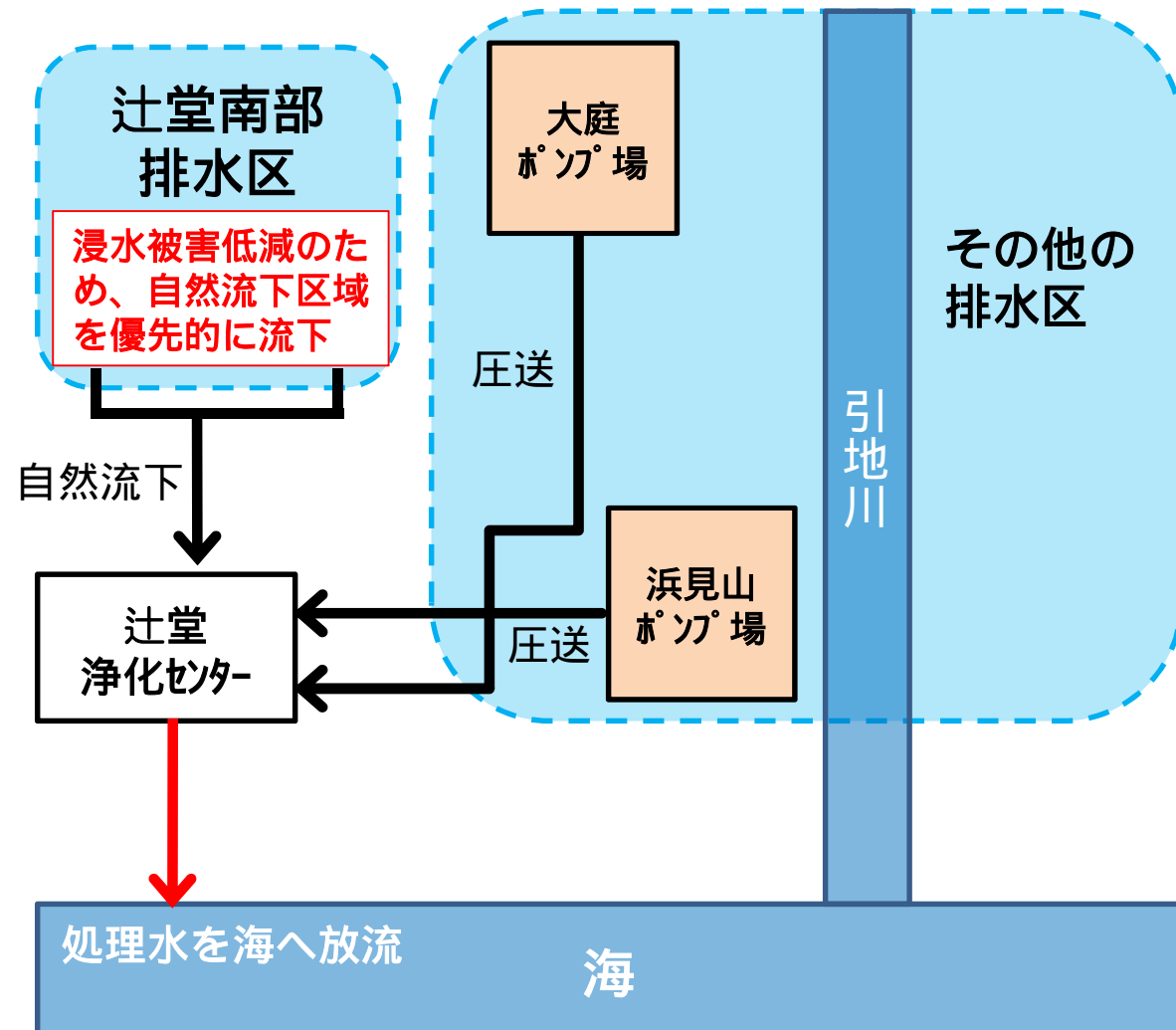
放流施設がないことから
雨天時には処理不要な雨水まで
辻堂浄化センターに流入

放流施設とは合流式下水道において、大雨の際、雨水で一定の濃度に希釈された下水を、公共用水域に排出させる施設

辻堂南部排水区の対策（辻堂南部放流管の新設） 5

南部処理区内では、JR辻堂駅から南側に位置する「辻堂南部排水区」を自然流下とし、「その他の排水区」は浜見山ポンプ場等を経由して圧送し、辻堂浄化センターで処理した後、相模湾へ放流

対策前(雨天時)



辻堂南部排水区の対策（辻堂南部放流管の新設） 6

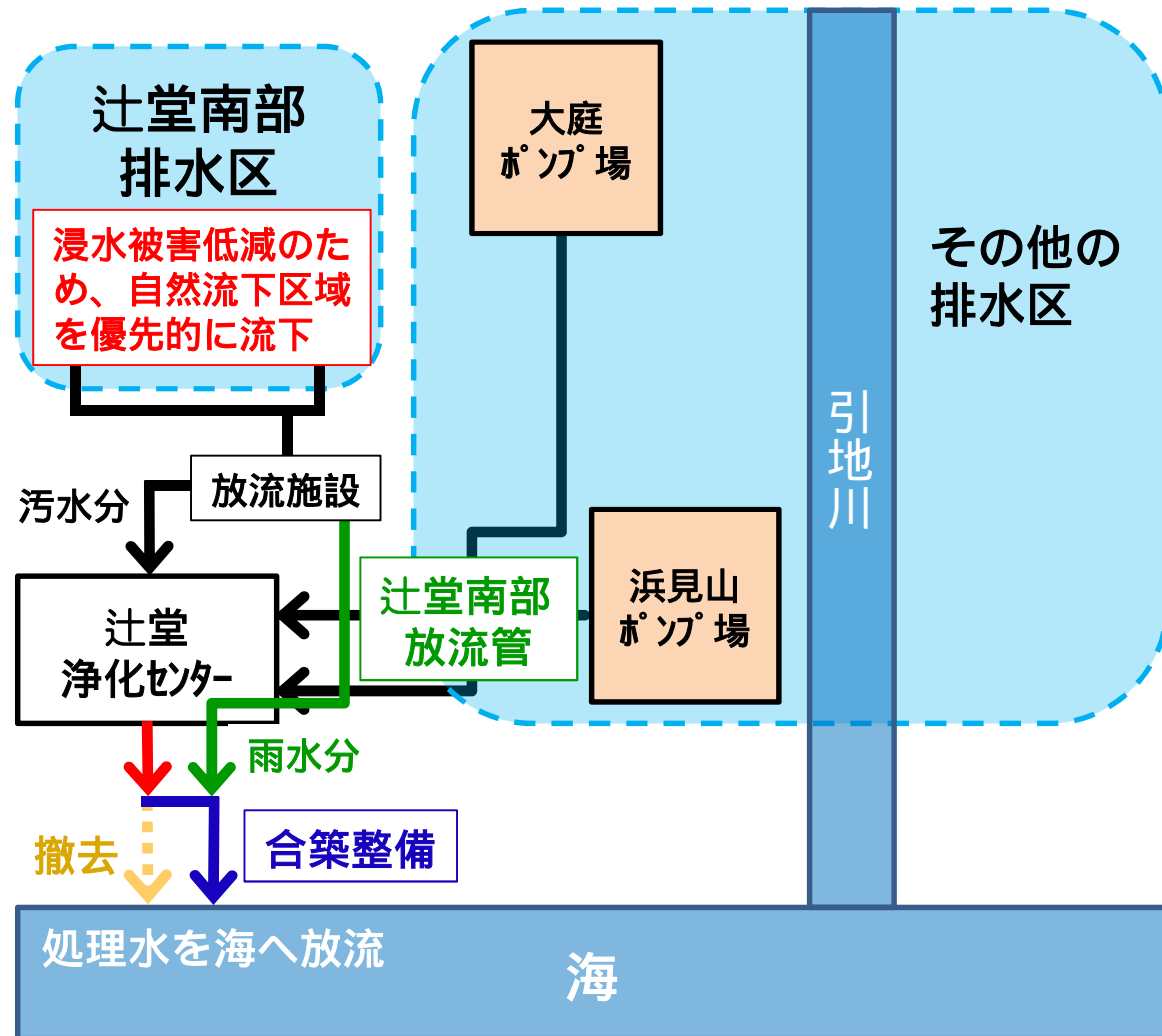
南部処理区内では、JR辻堂駅から南側に位置する「辻堂南部排水区」を自然流下とし、「その他の排水区」は浜見山ポンプ場等を経由して圧送し、辻堂浄化センターで処理した後、相模湾へ放流

対策後(雨天時)

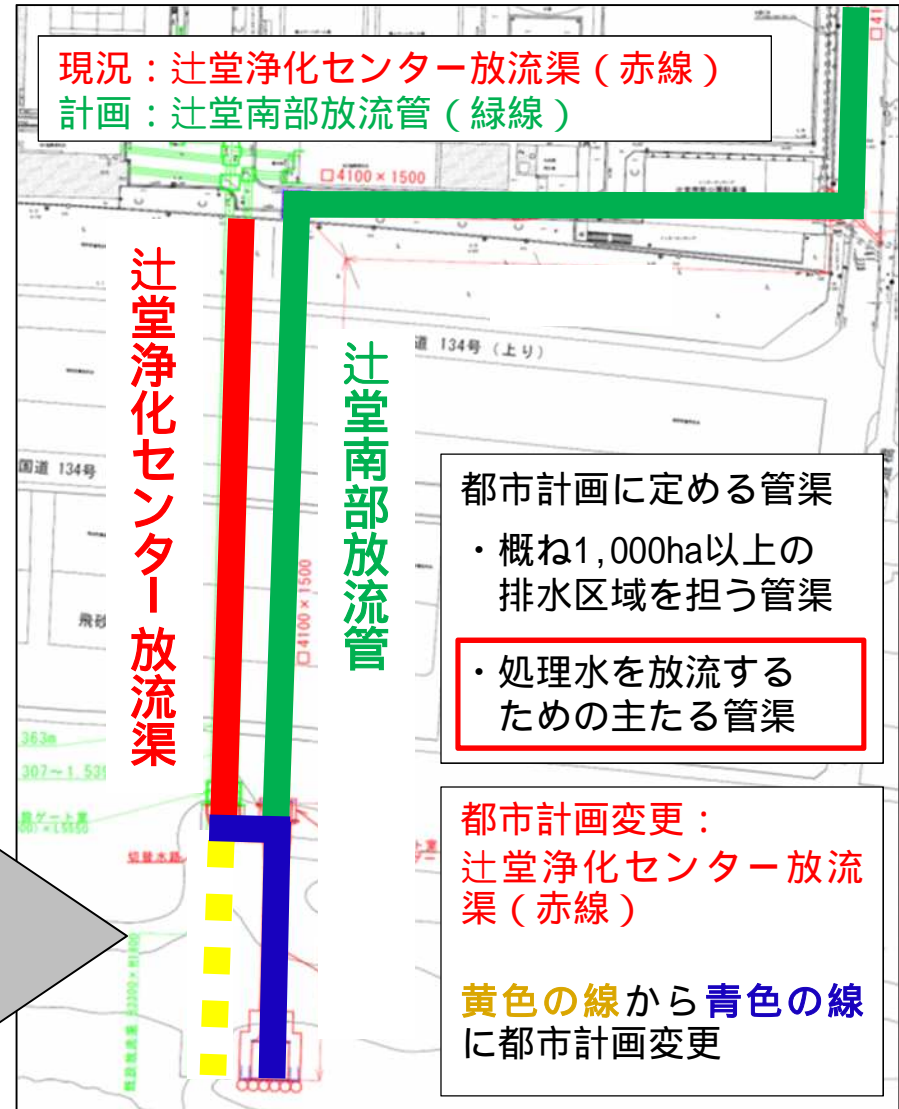
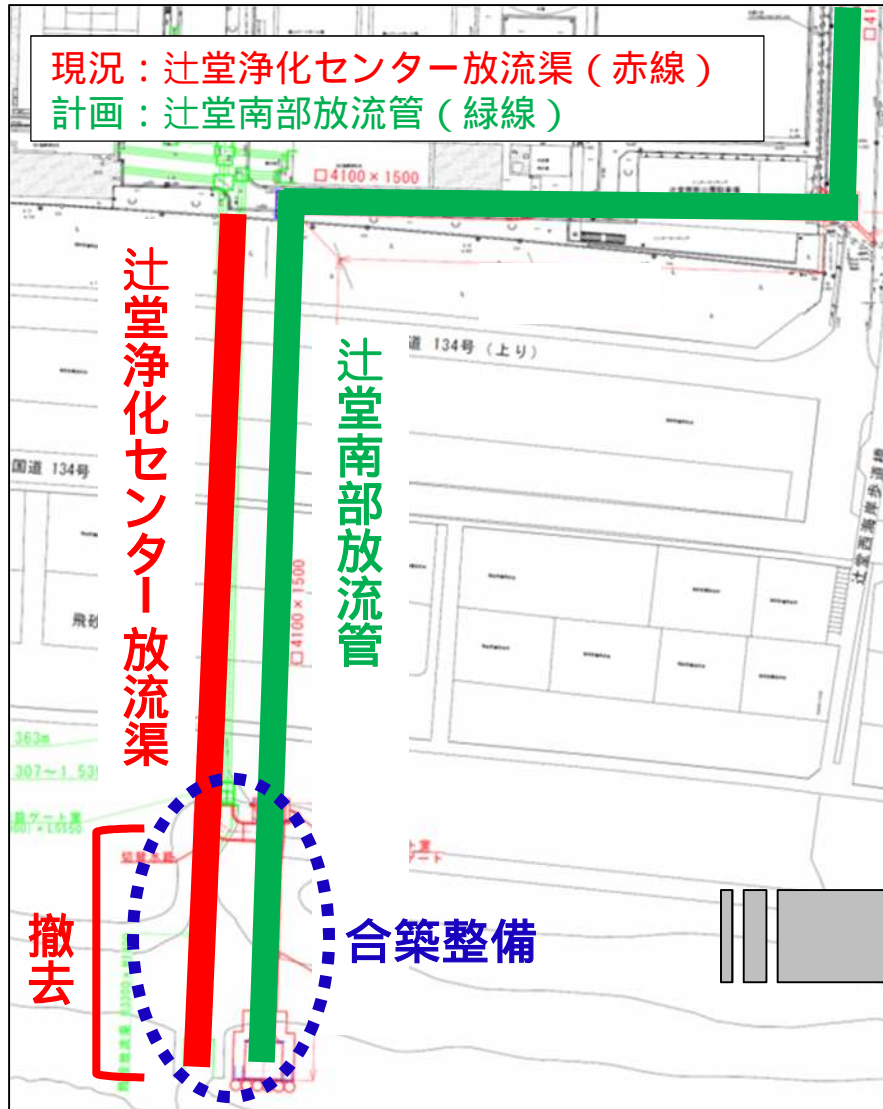
辻堂南部放流管を新たに建設することで・・・

辻堂南部排水区から一定量を超えた下水を雨水として海へ放流し、**浄化センターに流入させる下水量の適正化を図る**

計画雨水規模に対応した放流管により地域の**浸水被害の軽減を図る**



辻堂浄化センター放流渠と辻堂南部放流管の合築



計画図の変更

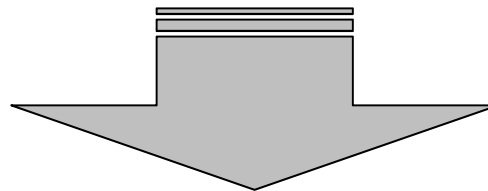
- 1 . 下水道の名称 第 1 号公共下水道
- 2 . 排水区域 面積 約4,627ha
- 3 . 下水管渠

内 訳	位 置		備 考
	起 点	終 点	
引地川右岸遮集幹線	藤沢市鵜沼海岸四丁目	藤沢市鵜沼海岸四丁目	
浜見山ポンプ場圧送管	藤沢市辻堂西海岸三丁目	藤沢市鵜沼海岸四丁目	
境川中部汚水 1 号幹線	藤沢市大鋸字大清水	藤沢市白旗一丁目	
白旗川汚水 1 号幹線	藤沢市白旗一丁目	藤沢市善行団地	
引地川中部汚水 1 号幹線	藤沢市石川字中河内	藤沢市石川字岡田屋敷	
石川ポンプ汚水圧送管	藤沢市善行団地	藤沢市石川字中河内	
辻堂浄化センター放流渠	藤沢市辻堂西海岸三丁目	藤沢市辻堂西海岸三丁目	
大清水浄化センター放流渠	藤沢市大鋸字谷	藤沢市大鋸字谷	

位置（起終点）について表記の変更なし

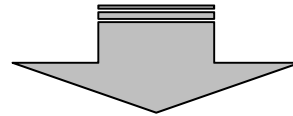
4 . その他の施設

内 訳	位 置	備 考
浜見山ポンプ場	藤沢市鵜沼海岸四丁目	約 3,970m ²
石川ポンプ場	藤沢市石川字中河内地内	約 2,640m ²
辻堂浄化センター	藤沢市辻堂西海岸三丁目	約 92,400m ²
大清水浄化センター	藤沢市大鋸1500番地	約167,500m ²

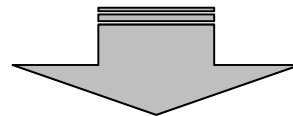


計画書の記載事項については変更箇所なし

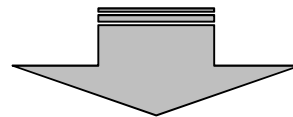
11月30日 都市計画説明会



12月上旬～1月上旬頃 神奈川県知事との法定協議



1月中旬～下旬 法定縦覧・意見書（2週間）



2月 藤沢市都市計画審議会（付議）

藤沢都市計画下水道の変更について

報告事項1

藤沢都市計画下水道 第1号公共下水道（藤沢市決定）